

# 常警毎日

発行所 平野町新町75番地  
電話 1,210  
1,269  
編集長 斎藤 進  
印刷 平野印刷所  
電話 1,269

婦人科 産科  
斎藤医院  
平野町新町75番地  
電話 1,210  
1,269

## 強風下漁船の事故相次ぐ

### 乗組員十四名に絶望視

平潟港所 属大正丸 小名沖で船体の一部発見

茨城県平潟港所属大正丸(三〇七ト)は、二十七日午後二時、小名沖で強風と激浪をきけるため小名沖港に向かう途中に沈没した。二十七日午前二時、小名沖沖合に同船の救命艇、トロロコ、トビヤなどが漂流しているのを附近航行中の漁船が発見、小名沖海上保安部に届け出た。同保安部の巡視船「あまぎ」は、はじめ漁船十隻が出動し、附近の捜査に当たっているが、二十七日午前七時、小名沖沖合に同船の一部を発見した。同船は、二十五日午前一時、茨城県平潟港を出港、房総沖で操業中風浪が強くなって来たので、小名沖沖合に停泊したが、風が強くなり向港に入港できず避難のため小名沖港に向かったもの。乗組員は全員の絶望視されている。

### 乗組員氏名

▽船長 米山 武三(大津市)▽機関長 山崎 久好(大津市)▽副機関長 山崎 久好(大津市)▽大津市 伊藤 好雄(宮城県)▽大津市 伊藤 好雄(宮城県)▽大津市 伊藤 好雄(宮城県)▽大津市 伊藤 好雄(宮城県)▽大津市 伊藤 好雄(宮城県)▽大津市 伊藤 好雄(宮城県)

酒に飲まれて凍死

## 連絡船 またも遭難

### 乗客ら一五五名絶望視

### 和歌山航路の南海丸

東京神戶航路の和歌山航路を航行中の和歌山丸(八四八ト)は、二十七日午後六時半ごろ、和歌山沖で「風波が高い」という無線を最後に百五十五名乗客を乗せたまま消息を断った。たまたかに神戸海上保安部から巡視船若狭丸(五二ト)が、海上自衛隊フリゲート艦などが出動して捜索を行っているが、今晩、和歌山丸と南海丸とを合わせた救命ボートを見、沈没は確実視されている。遭難した南海丸は和歌山一小松島間の定期航路を当日は北風と激浪のため航行不能となり、和歌山丸(八四八ト)は、二十七日午後五時、和歌山沖で遭難した。乗客は百五十五名、乗組員は二十名、合計百七十五名と推定されている。和歌山丸は和歌山沖で遭難し、南海丸は和歌山沖で遭難した。乗客は百五十五名、乗組員は二十名、合計百七十五名と推定されている。

### 野郎ども四名捕る

詐欺と盗みを働く

二十六日から二十七日にかけ平野町に四名の詐欺、窃盗を働いた男たちを逮捕した。平野町警署は、二十六日から二十七日にかけ平野町に四名の詐欺、窃盗を働いた男たちを逮捕した。平野町警署は、二十六日から二十七日にかけ平野町に四名の詐欺、窃盗を働いた男たちを逮捕した。

### 平芸妓組合の懇親会

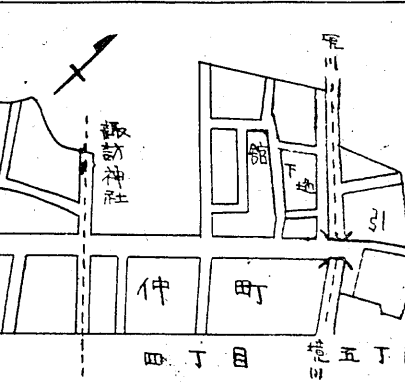
28日平商連の実行委員会

### 平芸妓組合の懇親会

平野町芸妓組合、平野町芸妓協会は、二十八日午後三時から平野町公会堂で懇親会を開いた。平野町芸妓組合、平野町芸妓協会は、二十八日午後三時から平野町公会堂で懇親会を開いた。

## 字名改稱縣に具申

四一から五丁目まで



四町臨時町会、川口町臨時町会、三丁目は小松島町臨時町会、二丁目は大津町臨時町会、一丁目は平野町臨時町会から成り立つ。字名改稱の申請は、平野町臨時町会から成り立つ。

### 故佐藤三平儀告別式に際しまして

は御多用中にも拘らず遠路慈々御葬を賜り誠に有難う御座りました。故佐藤三平儀告別式に際しまして、御多用中にも拘らず遠路慈々御葬を賜り誠に有難う御座りました。

- 市長 沼田 一夫
- 市議 菅本 三義
- 市議 小野 辰蔵
- 親戚代表 佐藤 精孝
- 友人代表 関内 正一
- 大河原 茂平

### 近火御見舞御礼

- 大黒屋 酒部
- 魚光 商會
- 日光 商會
- マルサ 食堂
- 魚光 食堂
- 小松 製物店
- 天地堂 製器店
- 會田 ガラス
- 米カメラ 久
- 茂木 カメラ
- 三浦 ミシン
- 會田 美容院
- 鈴木 勲商店
- 常盤 商店

## 丸平商店

平野町郵便局裏通り  
電話 三三〇番

## 藤越

平野町  
電話 三三〇番

## 丸市特撰の干物

平野町電話 213

